

中野神明小学校・新山小学校統合委員会 要 点 記 録

第14回

開催日時	平成29年2月9日(木)午後6時30分～8時20分	
開催場所	南中野区民活動センター洋室1・2号	
出席者	委員	河原井守、大川輝男、渡部金雄、山本隆良、小川恵子、 大山理奈、大川奈々、大矢進一、襲地加代子、永見俊光、 道林京子、赤津知子、三小田真乃美、 岡本賢二、廣瀬淑識、吉羽茂、小菅和子、 板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同)
	その他	教育長 パシフィックコンサルタンツ株式会社 子ども教育施設担当
	事務局	学校再編担当
会議次第	【報告】 1 「統合新校新校舎の改築に関する意見について」の報告 2 新校舎の基本構想・基本計画(案)について 【議事】 1 学校指定品について 2 校旗について 3 校歌について 4 通学路について 5 その他	

第14回 中野神明小学校・新山小学校統合委員会 会議要旨

開 会

委員長

定刻となったため、これより第14回の統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。

約2年半の期間、協議を進めてきた統合委員会が本日をもって終了する。本日は教育長も出席しているので、最後に挨拶をいただけたらと思う。

それでは、議事に入る前に、事務局から2点の報告事項がある。

事務局

先に、報告(2)の新校舎の基本構想・基本計画(案)の策定に携わったパシフィックコンサルタンツ株式会社と子ども教育施設分野の担当職員が出席しているのでご了承いただきたい。

報告(1)「統合新校新校舎の改築に関する意見について」の報告

事務局

前回の統合委員会で取りまとめた統合新校新校舎の改築に関する意見について、11月16日

に委員長から教育委員会へ報告した。当日は大和小学校・若宮小学校統合委員会の委員長も出席し合同での報告となった。なお、報告書の文案については、事前に両校と正副委員長とで調整を行い作成したものである。

■報告書「統合新校新校舎の改築に関する意見について」の報告を事務局から説明

中野区教育委員会が進める中野神明小学校・新山小学校統合新校の新校舎改築について、以下のとおり意見を取りまとめましたので、学校統合委員会の設置に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、報告いたします。

- ・建築基準法などの規制が厳しいとは思いますが、統合後の児童数を考慮した校庭の広さやトラックの確保など、最大限の努力をしていただきたいと思います。
- ・キッズ・プラザや地域開放型学校図書館の設置にあたっては、学校関係者以外の動線に十分配慮した配置とするとともに、セキュリティ対策を講ずることで学校運営に支障がないようにしていただきたいと思います。
- ・プールを屋上に造るにあたっては、周りのマンションからの視線に対する配慮が必要だと考えます。
- ・子どもたちが長く過ごす校舎については、自然光を取り入れるなど明るい校舎造りを検討していただきたいと思います。
- ・教室の配置など具体的な検討をするにあたっては、学校と十分に協議し進めていただきたいと思います。
- ・アンケートで出された意見については、施設計画にできるだけ反映していただきたいと思います。

委員長

説明の内容について、何か意見等あるか。特になければ次の報告に進む。

報告(2) 新校舎の基本構想・基本計画(案)について

■資料「中野神明小学校・新山小学校統合新校校舎等の整備基本構想・基本計画(案)について」教育委員会事務局副参事(子ども教育施設担当)から説明(概要)

○中野区立小中学校再編計画(第2次)に基づき整備する中野神明小学校と新山小学校の統合新校については、平成32年度に新校舎の開設を予定している。

これまで、新校舎及び併設する地域開放型学校図書館、キッズ・プラザに関する基本的な考え方や配置案について、検討を進めてきた。

この度、これらの検討結果を中野神明小学校・新山小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画(案)としてとりまとめた。

1 中野神明小学校・新山小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画(案)

※内容は、中野区教育委員会ホームページ「中野神明小学校・新山小学校新校校舎等の整備について」を参照

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/dept/655000/d024090.html>

2 区民との意見交換会

日時	会場
2月18日(土) 18時~20時	南中野区民活動センター
2月19日(日) 18時~20時	

※各回とも同内容

※2月5日号区報、ホームページ等により周知

※地区町会長会議でも説明(南中野、弥生地区)

3 整備スケジュール（予定）

	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
中野神明小学校 新山小学校	基本構想 基本計画	基本設計・実施設計	解体工事・新校舎建築工事		新校舎供用開始	

なお、中野神明小学校と新山小学校の統合新校は、みなみの小学校として現在の新山小学校の位置にて平成29年4月から開校

委員長

説明の内容について、何か意見等あるか。

委員

4つの案があるが、まだ多少は校庭を広くすることはできるのか。

事務局

この基本構想・基本計画というのは、詳細を決めたものというより、建物のイメージをあらわしたものと考えていただければ良いと思う。教室の配置や校庭の面積などの詳細は、今後の基本設計で決まっていく。

委員長

現時点では、校舎がヶ所に固まった配置になるか、校庭を囲んだ配置になるかなどのイメージをするということが。

事務局

そうである。

委員

体育館が校舎から離れた配置の案があるが、校舎からはどのように行くのか。

区担当

渡り廊下などでつながることになる。

委員

校庭と校舎の位置が今と逆になっている場合、周りの住民へ騒音等の影響があると思う。

委員

現在の職員室の上のある校舎は3階までであるが、図面では2階までしかないがどういうことか。

区担当

現在の建築基準法に則って検討した結果、日影の影響等からこのようになる。

委員

普通教室が校庭に面していない場所に配置されている案があるが、教室から校庭が見えたほうが良いのではないかと思う。

区担当

普通教室の日照を考えた結果、この配置になっている。

委員

学校は校庭を囲む校舎のイメージなので、普通教室が校庭に面していない配置案は違和感がある。

委員

改築について意見の取りまとめの協議でも発言したが、やはりプールが屋上に設置することなので、近隣からの目線の配慮をぜひお願いしたい。

そのほか、児童の出入り口だが、統合後の人数の子どもたちが、朝の登校時に集中することになるので、昇降口の場所など人数が増えることの対応も考えた図面としてもらいたい。

委員長

出入り口は、町会の避難場所としても関わってくると思う。統合後の避難所は、どのように変

わるのか。

事務局

校舎がある間は避難場所として機能する。

委員長

新山小学校を避難場所としている町会は、いずれどちらかに振り分けられるようになるだろう。

事務局

そういうことも考えて、跡地の利用をどうするか考えていくことになる。

委員

わからない言葉があるので教えていただきたい。「DW」と「屋上緑化」と「屋外設備スペース」とはどういうことか。

区担当

「DW」は、ダムウェーターといい、給食用の配膳車など運ぶエレベーターのことである。

「屋上緑化」は、屋上に植物などを植えて子どもたちが育てたりできるもので、敷地内での緑の面積を確保する意味もある。

「屋外設備スペース」は、冷暖房の室外機等を置く場所のことであり、屋上に設置することを考えている。

委員

太陽光パネルスペースとあるが、どれぐらいの電力が得られるものなのか。

区担当

現在設置されている学校の例で言えば、白桜小学校は僅かだが売電している。中野中学校はそこまでの電力はなく自分のところを賄うまでである。30 キロワットぐらいあれば、使用したうえ売電ができる。

委員

設置することによって冷暖房に使用できるなら、自然エネルギーは最大限利用したほうが良いと思う。例えば目線を隠すためにプールの上に屋根をつけ、そこにパネルを敷くとかの工夫もできるのではないか。

委員長

子どもたちのために、大人は精いっぱい頑張って良いものをつくらなければならない。

区担当

区民との意見交換会が、2月18日、19日の18時から、こちらの南中野区民活動センターを会場に実施される。また、その週に地域の町会長会議にも伺い、説明する予定である。

委員長

他に何か意見はあるか。特になければ議事に進む。

1 議 事

委員長

それでは、議事に入る。議事(1)から(3)について、一括して事務局からの説明を求める。

議事(1) 学校指定品について

■資料「みなみの小学校の学校指定品等について」事務局からの説明

(概要)

みなみの小学校の学校指定品を報告する。

- ・品目は、体育着の上下・通学帽子・水泳帽子である。
- ・体育着は、南台小学校(紺色)とみなみの小学校(ブルー)で色違いの同型である。
- ・1月に保護者にサイズ調査を行い、3月中旬には児童に渡せるように準備を行っている。

議事(2) 校旗について

事務局

刺繍校旗が完成した。生地の色は南中野中学校と同じハイライトブルーである。素材は絹であり、織り方は綴織りで校章は金糸・銀糸を用いた総手刺繍である。竿の部分は、樺木に七宝塗りを施している。旗頭も校章が3方面から入っている。

議事(3) 校歌について

■資料「みなみの小学校校歌（歌詞・楽譜）」事務局から説明
（概要）

作詞家の津田雅道氏と作曲家の庄司龍氏に制作を依頼していた校歌が完成したのでCDを聴いていただきたい。なお、第12回統合委員会でデモテープの試聴をしたときの歌詞から一箇所変更がある。3番の最後の行の「楽しい学び舎」が、以前の「栄えよ学び舎」から変更されている。

委員長

校歌を制作した二人からは、みなみの小学校の校歌を作らせてもらったことは、とても名誉なことである。歌は忘れられるものも多いけれど、校歌は学校が続く限り歌い継がれていくものなので、縁をつくっていただいたことをありがたく思っていると、委員の皆さんへの言葉があったので、この場を借りて報告する。

議事(1)から(3)の説明の内容について、何か意見等あるか。
なければ議事(4)について学校から説明がある。

議事(4) 通学路について

■資料「中野区立みなみの小学校通学路図」について学校から説明
（概要）

現在の新山小学校と中野神明小学校の通学路をできるだけ生かして設定した。また、統合時に通う校舎は現新山小学校の位置になるが、新しい校舎の完成後には、現中野神明小学校の位置になるので、その際にまた変更するのではなく、今回の通学路を基本的に生かせるようにも配慮している。

1月に、中野神明小学校の子どもたちを対象に新山小学校までの登校訓練を実施した。新山小学校やPTA、民生委員、スクールサポーター等、協力いただき無事に通学することができた。その際に出された課題を生かして、2月23日に2回目の登校訓練を実施する予定である。

今後は、通学安全指導員をどの位置に配置するかなど、両校で調整しながら決定していく。

委員長

説明の内容について、何か意見等あるか。

委員

南台小学校の通学区域にも通学路が設定されているが何故なのか。

学校

現在、新山小学校に通っている子どもたちが通っている通学路であり、統合したあとも使用するためそのまま残してある。

委員

現中野神明小学校の位置に新校舎が完成したら、通学路は見直すのか。

学校

また同じように検証して決定していくことになる。

委員

新山小学校の登校班による登校が、4月以降はなくなると聞いているが、保護者からは不安等が出ていないのか。

委員

PTAからは登校班をつくって欲しいとの意見はあるが、3校の会長と話し合った結果、4月までの短期間で話を進めて登校班をつくるというのは難しいということになった。

委員

今一緒に行っている子どもたちが、急に1人になって戸惑わないかと心配である。

委員

4月になっても登校班としてはではないが、今の班の子どもたちは一緒に登校しようとなっているようなので、急に一人ぼっちとはならない。

委員

自主的な登校班ということだ。

委員

新山小学校は今までの経緯もあり、自主的に登校班の形での登校ができるが、中野神明小学校の子どもたちも保護者たちが話し合って、一緒に登校するというのは難しいだろうか。

委員

個人的に話し合って、一緒に登校しようとなるのはあると思う。

委員

中野神明小学校も昔は登校班があったが、事故などがありやめた経緯もある。

委員

登校班があると同時に、PTAが何ヶ所かに立って見守っていたので、今後の通学安全指導員の配置も重要だが、地域の人たちの見守りも必要になるのではないかなと思う。

委員

今までは要所、要所に保護者が立っていたので、狭い道でも自転車との接触事故など起こらなかった。登校については課題としてとらえ、新校のPTAの方々と話し合っていたきたいと3校の会長の話し合いの中の申し送りとしている。

委員長

他に意見はないか。特になければ議事(5)に進む。

議事(5) その他

委員長

議事(5)その他に入るが、何か意見等あるか。

委員

統合によって子どもたちの行動範囲が広がるので、登下校や放課後のことなど出来る限りの指導をして、新校にも引き継げるよう進めている、南中野地域の方々も力もお貸しいただき見守っていただけたらと思う。

委員

多田小学校と新山小学校は、南台三丁目にある中野特別支援学校と交流校になっている。神明学級も新山小学校の位置に移ってくるので、みなみの小学校になっても交流を続けていただけたらと思う。

委員

中野神明小学校も学校間の交流という形ではないが、復籍交流制度というものがあり、中野特別支援学校に通っている児童が年に2回くらい来て、1時間くらい一緒に活動をして帰るという交流をしている。今後はさまざまなクラスが直接交流するということも増えると思う。

委員

復籍交流制度というのも大事だと思うが、やはり子どもたちみんな中野特別支援学校に行っ

て一緒に何かやる体験をするというのは、子どもたちの経験という意味でも大事だと思う。中野

特別支援学校も地域の学校なので、地域全体で見守るという思いからも、学校間の交流ができるとなお良いと思う。

委員長

これからの課題として意見をいただいたということで、それがまたどういう形になるかは、新しい学校が動き出したときにだんだん出てくることだと思う。

他に何か意見はあるか。なければ以上で本日の議事はこれで終了するが、最後の統合委員会となるので、各委員から一言ずつ意見や感想をいただきたい。

委員

この地域は、下町的なところもあり仲が良いのが特徴と思っている。最初のうちは学校まで遠いので子どもたちにとって状況が変わるが、大人が理解し見守っていけば子どもたちもなじんでいくと思う。学区域が広がるので登校についても、皆で見守っていききたい。

委員

一つの学校をつくるのに、こうやっていろいろな立場の人間が時間を費やして話し合っていくというのは、大変なことだと思った。無事に終わることが出来て良かった。

委員

新しい学校をつくるということに携われるとは思っていなかったので大役だったが、新しい校歌を聴くと本当にできるのだと実感でき嬉しく思った。これからみんなで良い学校を子どもたちと一緒につくって欲しいというのが一番の願いである。

委員

長いと思っていた統合委員としての活動も、一つ一つの議題をこなしていき、気がつけば4月に開校ということで驚いている。自分の子は、みなみの小学校に通うのをとても楽しみにしている。新しい学校でもPTAで参加していくので、またいろいろと頑張りたい。

委員

2つの統合委員会に参加し発言させていただき、良い勉強をさせてもらった。

今、閉校式に向けて、子どもたちのために何かしようということで保護者の皆さんが一生懸命活動してくれているが、これは新山小学校に関係する人たちが今まで培ってきたことの表れだと思う。3校が統合して2校になるということで、正直、子どもたちや先生方、PTAとしても負担が大きかったが、新山小学校だから出来たと思っている。今後、もし新たな再編計画が策定されるときは、3校を2校にするというのは負担が大きいということを念頭においていただき配慮願いたい。

委員

子どもが卒業するので、新しい校旗や体育着とかを見るだけになってしまうのが寂しいが、今後は地域の一住民として応援させていただきたい。

委員

とても優しい校歌ができたので良かったと思う。家の周りでは3校の子どもたちが仲よく遊んでいるので、統合については大丈夫と思っている。通学路が長くなるのが気になるので、今後何か手伝えることがあれば協力したいと思っている。

委員

中野神明小学校の出身なので、母校がなくなってしまう寂しさを感じながら統合委員会に参加したが、いろいろと地域の方の意見や校長先生たちの話が聞けて、大変良い経験になった。みなみの小学校がこれからどんな学校になっていくかは、子どもたちが答えを出してくれるもの、何年か後に良い学校ができたと思えると良いと思っている。

委員

学校というのは地域の核だと思う。この地域に中野富士見中学校と第一中学校の統合で南中野中学校という素晴らしい中学校をつくることがベースにあったからこそ、今回の統合委員会においても和気あいあいと進めることができたのだと思う。今後は新しい学校を中心にした地域づくりになっていくと思うので、地域住民として何らかの形で関わっていききたいと思う。

委員

2つの統合委員会に参加したが、両方とも地域の人が良い小学校をつくろうという温かい気持ちを感じられる統合委員会だった。新しい小学校ができてからが大変だと思うので、地域の1人として手伝えることはしていきたいと思っている。

委員

統合委員になって、いち早く校章や校旗が見られたことはとても幸せだった。中野神明小学校の子どもたちの様子などは分かっているが、新山小学校の周年行事に行かせてもらったときに、子どもたち皆がかわいくて、そんなかわいい友だちが増えるのだと思うとすごく楽しみである。統合に当たっては、不安より楽しみがたくさんあるので、これから自分たちもPTAとして頑張っていきたい。

委員

現在、みなみの小学校の開校に向けた詰め準備をしている。様々な声をいただいているので可能な限り反映し、不安のないようにしていきたい。

委員

地域の皆さんが子どもたちのことを大切に思い、いろいろな話をしていただいたことを強く感じた。改めて感謝したい。両校で開校に向けて準備を進めているところだが、4月以降も今まで同様、地域の皆さんに応援していただき、良い学校をつくっていかねばならないと思っている。

委員

委員皆さんの一つ一つの発言で、子どもたちのことを常に考えているということが分かり大変勉強になり、貴重な機会をいただいたと思っている。両校の教員で新しいクラス編成の打合せを始めている。4月に万全なスタートを切れるよう学級経営には注力していなければならないと考えている。

委員

この地域がどれだけ子どもたちのことを思い進んでいるのかを肌で感じる事ができた。2つの統合委員会で共通することは、子どもたちの為に何をしたら良いか、大人が力を合わせていこうというスタンスが同じだということである。登校する日は30日を切ってしまったが、閉校の最後の日まで子たちをしっかりと育てて、新校への進学につなげたいと思う。

委員

中野神明小学校改築の施設配置案として、本日4案を示させてもらったが、今年度中には1案に絞る予定である。委員の方には、またご意見等協力いただくことがあるかもしれないので、今後ともよろしくお願ひしたい。

委員

統合委員会の途中から参加したが、地域のことや学校のことも分からない中で、皆さんの協力がなくては、ここまで来られなかったとつくづく感じている。先ほどの3校を2校にという、その難しさというのも本当に感じながら、学校、PTA、それから地域の協力を得てやってこられたと思い感謝している。

副委員長

学校は校長先生初め先生方、PTAの方、行政の方と多くの人間に支えられているということを改めて感じる事ができた。町会長になってから学校に行く機会もあるが、それでもわからないことが多く、統合委員会に参加していろいろと勉強になった。皆さんの協力で無事に終わることができたと思う。

委員長

委員皆さんの力添えをいただき、協力のもと統合委員会が無事終了するという事は委員長として本当に嬉しい。初めは統合に反対していたのだが、新しい学校をつくるための委員長をやらせてもらうということは、こんな光栄なことはないと思いを切りかえて、本日このように最後までできたことを本当にありがたいと思う。今後も統合に関わった者として新しい学校を支えていきたい。

最後に教育長からご挨拶をいただきたいと思う。

教育長

2年半という長い間、委員の皆さん方に真剣に協議していただいたことにお礼申し上げたい。統合委員会は終わりになるが、新しい学校はこれからがスタートで、学校にどのような魂を入れていくかというのは、行政だけの役割でないと思う。学校と地域の皆さんが子どもたちを見守っていき、良い学校をつくっていただきたいと願っている。大規模改修から改築へ変更したことで、皆さんには大変迷惑をかけたが、最終的に中野神明小学校の位置に新校舎が建つまでは、統合委員会に身を置いた立場として見守っていただけるとありがたい。

今回の統合は、新山小学校の PTA の方や学校関係者が一番苦勞されたと思う。そのことを心に留めながら、これからの行政で生かしていきたいと思う。

委員長

では、本日をもって、統合委員会を終了する。最後に記念撮影を行いたいと思う。

—記念撮影—